

事務事業名	地域対策関係費										担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	003	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	平成 10 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	各市民センター・公民館を拠点とし、地区内の緊急・応急対策を必要とする諸課題への迅速な対応を図る。				
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)			47,013 人
根拠法令等					
事業実施内容	地域の緊急・応急対策を必要とする諸課題及び市が管理する地域施設等を対象とし、地区内の生活環境の維持・向上を図った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 129 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	61 千円	地域要望に係る印刷製本費等
		役務費	5 千円	安全・安心ステーション兼コミュニティスペース施設賠償責任保険
財源内訳	R3年度 支出済額 129 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		負担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	129 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.33人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.02人工
合計	1.35人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.60人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト 支出	行政費用 A	1,250	1,235	14,232	15,244
	(1)現金を伴う支出 (千円)	1,261	1,204	10,816	14,609
	事業費(支出済額)	297	134	22	129
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	964	1,070	10,794	14,480
	①常時勤務職員等の給与等	917	1,006	8,700	12,250
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	1,504	1,687
	③退職金相当額	47	64	590	543
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-11	31	3,416	635
	①減価償却費	0	0	459	0
	②退職給与引当金繰入額	-11	31	2,957	635
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		2.91 429,317	2.85 433,060	32.71 435,121	34.73 438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績
	指標名	目標	実績	目標	実績
上記指標名の設定ができない理由		地域の緊急・応急対策を必要とする諸課題への対応を図ることを目的としているため、指標の設定はできない。			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	防災訓練等関係費										担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	防災体制の強化と市民の防災意識の高揚を図るために、地区総合防災訓練等を実施する。																
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)														47,013	人
根拠法令等	法律等	災害対策基本法															
事業実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、藤沢地区総合防災訓練は、東西地区ともに中止となった。その代替として、東部地区では、地域の防災訓練等において活用していただくことを目的として、紙上防災訓練用資料を自治会・町内会長及び防災部長に配布した。西部地区では、地区内住民を対象に、感染症対策を踏まえた避難所開設等訓練を実施した。																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		0		
		千円		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		0		
		千円		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
県支出金				
その他( )				
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.92人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.92人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	13,140	20,041	9,535	8,655									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	13,092	18,278	11,624	9,439									
		事業費(支出済額)	104	104	0	0									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	12,988	18,174	11,624	9,439									
		①常時勤務職員等の給与等	12,383	17,094	9,526	8,492									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	1,460	562									
		③退職金相当額	605	1,080	638	384									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	48	1,763	-2,089	-784									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	48	1,763	-2,089	-784									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他( )	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	30.61	429,317	46.28	433,060	21.91	435,121	19.72	438,968					
成果実績	指標名	地区総合防災訓練参加者数	目標	900	単位	人	900	単位	人	900	単位	人	900	単位	人
			実績	918	単位	人	867	単位	人	0	単位	人	0	単位	人
備考	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訓練を中止。														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	旧東海道藤沢宿活性化推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	旧東海道藤沢宿の活性化に効果的な事業展開・情報発信を行うため、民間事業者等が主催する事業の誘致や既存事業を活用し、民間と行政・地域との連携により、旧東海道藤沢宿のPRと誘客宣伝を図る。				
対象	4. その他	藤沢市を訪問する観光客(海水浴客を除く)			約 13,000,000 人
根拠法令等					
事業実施内容	藤沢宿の認知度向上を図る取組として、藤沢宿に関するキーワードをデザインしたオリジナルクリアファイルを作成し、ふじさわ宿交流館の協力により、地域の子どもたちに配布した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 88 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	88 千円	旧東海道藤沢宿PRグッズ作成
財源内訳	R3年度 支出済額 88 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	88 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.27人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.27人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト 支出	行政費用 A	2,183	918	11,507	400
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,942	1,670	8,852	2,693
	事業費(支出済額)	87	212	185	88
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	3,855	1,458	8,667	2,605
	①常時勤務職員等の給与等	3,667	1,371	8,110	2,492
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	188	87	557	113
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,759	-752	2,655	-2,293
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-1,759	-752	2,655	-2,293
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		5.08 429,317	2.12 433,060	26.45 435,121	0.91 438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績
	誘客宣伝イベントによる誘客数	600 人	473 人	1,000 人	1,000 人
備考					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館管理費										担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のため、施設の維持・管理を行うもの。								
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)						47,013	人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市公民館条例							
事業実施内容	安全かつ快適な利用に供するため、施設の適切な維持管理を行う。								

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 11,207 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		需用費	5,247 千円	消耗品、施設修繕費、電気・ガス・上下水道代
		役務費	280 千円	電話代
		委託料	5,301 千円	総合管理業務委託
		使用及び賃借料	376 千円	印刷機リース代、済美館マット賃借料
財源内訳	R3年度 支出済額 11,207 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	4,274 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他(光熱水費実費収入)	24 千円			
一般財源	6,909 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.46人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.20人工
合計	1.66人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.70人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト 支出	行政費用 A	76,776	72,549	30,858	34,343				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	65,281	58,160	27,553	26,741				
	事業費(支出済額)	23,457	12,658	11,110	11,207				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	41,824	45,502	16,443	15,534				
	①常時勤務職員等の給与等	39,910	41,182	14,355	13,123				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	1,755	1,460	1,968				
	③退職金相当額	1,914	2,565	628	443				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	11,495	14,389	3,305	7,601				
	①減価償却費	13,338	13,266	13,218	7,902				
	②退職給与引当金繰入額	-1,843	1,123	-9,913	-301				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		178.83	429,317	167.53	433,060	70.92	435,121	78.23	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	施設の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	現状維持
今後の方針	

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------



事務事業名	公民館事業費										担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	地域住民の生涯学習の場として、幅広い内容の事業を実施するとともに、市民の自主的な学習・文化活動の場を提供する。																
対象	1. 個人		市民													438,968	人
根拠法令等	法律等		社会教育法														
事業実施内容	生涯学習に関する講座の実施及び文化活動の推進・支援 公民館講座など計43事業 事業総実施回数 147回																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 1,028 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		報償費	924 千円	公民館事業講師等謝礼
		需用費	79 千円	公民館事業用消耗品
財源内訳	R3年度 支出済額 1,028 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源		1,028 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.31人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.10人工
合計	0.41人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	4.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	支出	行政費用 A	20,625	23,632	10,450	12,346									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	21,826	23,163	15,194	13,100									
		事業費(支出済額)	1,341	1,348	854	1,028									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	20,485	21,815	14,340	12,072									
		①常時勤務職員等の給与等	19,603	20,642	7,318	3,051									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	6,773	8,933									
		③退職金相当額	882	1,173	249	88									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,201	469	-4,744	-754									
		①減価償却費	0	0	0	0									
②退職給与引当金繰入額	-1,201	469	-4,744	-754											
③不納欠損額	0	0	0	0											
④その他 ( )	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		48.04	429,317	54.57	433,060	24.02	435,121	28.12	438,968						
成果実績	指標名	公民館主催事業の参加者数(延べ人数)	目標	6,570	単位	人	9,408	単位	人	6,388	単位	人	6,500	単位	人
			実績	7,175	単位	人	7,744	単位	人	1,651	単位	人	2,746	単位	人
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	藤沢公民館・労働会館等複合施設運営管理費								担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館						
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	004	説明	01	担当	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	令和 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設において、快適な施設環境とサービスを効率的に行うため、指定管理者による運営管理等を行う。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				47,013 人	
根拠法令等	条例(市) 藤沢市公民館条例、藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設条例						
事業実施内容	施設の良好な維持管理により、利用者の利便を図る。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3年度 支出済額	事業費節別財源内訳	
	102,213 千円	費目	支出済額(千円)		費目	支出済額(千円)
		報酬	80 千円		分担金・負担金	
		需用費	18,545 千円		使用料・手数料	
		役員費	81 千円		国庫支出金	
	委託料	82,955 千円	県支出金			
	使用料及び賃借料	552 千円	その他(光熱水費実費収入)	691 千円		
			一般財源	101,522 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.21人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.15人工
合計	1.36人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.30人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	行政費用 A	0	115,663	166,819	174,103				
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	113,095	108,281	113,932				
	事業費(支出済額)		104,536	98,699	102,213				
	償還金利息		0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	0	8,559	9,582	11,719				
	①常時勤務職員等の給与等		8,068	9,279	10,537				
	②会計年度任用職員の報酬等		0	0	843				
	③退職金相当額		491	303	338				
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	2,568	58,538	60,171				
	①減価償却費		0	59,416	59,416				
	②退職給与引当金繰入額		2,568	-878	755				
	③不納欠損額		0	0	0				
	④その他( )		0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	267.08	433,060	383.39	435,121	396.62	438,968	
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館整備費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	令和 3 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	生涯学習活動等の拠点である公民館として、旧藤沢公民館の整備を行い、適切な施設環境を維持する。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)			47,013 人		
根拠法令等	条例(市)	藤沢市公民館条例					
事業実施内容	旧藤沢公民館の解体工事及び工事に伴う家屋調査を行う。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 91,348 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		需用費	20 千円	設計図面印刷製本費ほか
		委託料	6,200 千円	家屋事前調査委託料
財源内訳	R3年度 支出済額 91,348 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他	91,348 千円	(社会教育施設等整備事業債、公共施設整備基金繰入金)		
一般財源		千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.51人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.04人工
合計	0.55人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト 支出	行政費用 A	0	0	5,787	96,260			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	4,399	96,259			
	事業費(支出済額)			0	91,348			
	償還金利息			0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	4,399	4,911			
	①常時勤務職員等の給与等			4,150	4,719			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			249	192			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	1,388	0			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			1,388	0			
	③不納欠損額			0	0			
	④その他( )			0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	429,317	0.00	433,060	13.30	435,121	219.29
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	
	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	
上記指標名の設定ができない理由		施設の解体を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容		
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性 事務事業の公平性は高いか	高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性	休止・廃止・完了	
今後の方針	解体工事及び家屋事前調査は令和3年度に完了し、家屋事後調査は令和4年度に完了予定。	

6. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館整備費(繰越分)										担当	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	井出 祥子	電話	6737

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	生涯学習活動等の拠点である公民館として、設備の改修工事を行い、適切な施設環境を維持した。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				47,013	人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市公民館条例					
事業実施内容	済美館(藤沢公民館分館)エレベーター改修工事						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 24,200 千円	事業費節別内訳		主な内容		
		費目	支出済額(千円)			
		工事請負費	24,200 千円		済美館エレベーター改修工事	
財源内訳	R3年度 支出済額 24,200 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)		
		費目	支出済額(千円)			
		分担金・負担金			令和3年度	
		使用料・手数料			常時勤務職員※	0.06人工
		国庫支出金			短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金			合計	0.06人工
その他(事業債)	18,100 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
一般財源	6,100 千円	会計年度任用職員(配置数)		0.00人		

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト 支出	行政費用 A	0	0	5,787	23,430			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	4,399	24,697			
	事業費(支出済額)			0	24,200			
	償還金利息			0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	4,399	497			
	①常時勤務職員等の給与等			4,150	481			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			249	17			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	1,388	-1,267			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			1,388	-1,267			
	③不納欠損額			0	0			
	④その他( )			0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	13.30	435,121	53.38	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	
	上記指標名の設定ができない理由	施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		休止・廃止・完了	
今後の方針	改修工事は完了した。		

6. 部長確認欄

部名	生涯学習総務課	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	---------	----	-------	-----	----------